

タウンウォッチング ー身近な環境マップをつくろうー
季節：いつでも

(学習のねらい)

- ①自分たちの住んでいる身近な町の中で、普段何げなく見過ごしていることがたくさんあります。町を環境という観点からとらえることにより、見慣れている町で新たな「気づき」が生まれます。
- ②自分たちの生活とかかわりを振り返ることにより、よりよい地域環境とはどのようなものか、それを創造するには、何をどう変えていけばよいかを考え、具体的な活動に結びつけるきっかけづくりにします。

場所：フィールド、室内
時間：4時間
対象：小学校低学年～

●用意するもの

地図（住宅地図などをB4判程度に拡大したもの）、ワークシート、筆記用具、バインダー、カメラ、模造紙、付せん紙、水性ペン

学習のすすめ方

- ①適当な範囲を定めます。できれば、快適な場所とそうでない場所の両方が見られ、地域の再発見につながるような場所を選定しましょう。
会場から、ゆっくり歩いて1時間程度で戻ってこられる程度の距離が適当です。
- ②参加者を数人ずつ（5～7名程度）のグループに分けます。
- ③出発前にウォッチングの範囲の説明を行い、何のテーマに注目してウォッチングを行うのかをグループ毎に話し合っ決めて、コースを考えます。
同じテーマでウォッチングを行っても、各人、各グループで視点が違うため、結果が違っておもしろいでしょう。

(視点の例)

- a. ごみの散乱 b. 水路などの様子 c. におい d. 緑や草花、鳥や虫の様子
e. 自動販売機 f. 看板 g. きれいなところ、きたないところ など

- ④グループ内で役割を決め、ウォッチングに出かけ、地図、ワークシートにメモをとります(発見した場所を地図に番号をつけて、ワークシートと関連づけるよう説

明しておきましょう)。ウォッチング中に出会った人にインタビューを行ってもおもしろいでしょう。

- ⑤ウォッチングが終わったら、テーマに添ってウォッチング結果をグループで話し合いながら、模造紙に結果をまとめ、環境マップを作成します。グループ毎に結果を発表します。

【ステップ2「はじめの一步」】

- ・発表結果をもとに、みんなで自分たちの住んでいる町の環境をよりよくするためにはどうしたらよいかを話し合います。
- ・環境の将来像にふさわしい「地域のキャッチコピー」をつくりましょう。

【ステップ3「つぎの一步」】

- ・歴史的建造物、農産物、町の誇れるものなど、「まちづくり」「地域活性化」という大きな視点でマップを作製し、将来像を話し合しましょう。

【ステップ4「さらに」】

- ・違うテーマで数回に分けてウォッチングを行い、ごみの状況や四季の変化などを盛り込んだ総合的なマップを作製するのもよいでしょう。

【実施上の工夫・留意点】

- ①事前にその区域を歩いて、危険な個所がないかチェックしておきましょう。
- ②テーマやコースの長さは、参加者の興味・関心や年齢を考慮し、テーマはなるべく参加者が決めるようにしましょう。また、テーマを決めずに個々の視点でウォッチングを行って新たな発見に結びつけるのもよいでしょう。



【ワークシート】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	-------------

テーマ

場 所 地図の番号を 記入しましょう	見つけたことを書きましょう	何を感じましたか

出会った人に、テーマについてインタビューしてみましょう。

--

ウォッチングをしての感想を記入しましょう。

--

テーマについて、みんなに訴えたいことのキャッチコピーをつくりましょう。

--

(2)ー③ テーマ：「地域文化・歴史」 ステップ1「きっかけ」

身近な生き物マップを作ろう

季節：いつでも

(学習のねらい)

- ①自分が住んでいる地域に、どんな動植物が生息し、どんなところで暮らしているかなどを調査することにより地域の再発見ができます。
- ②動物と植物の関係や生息分布などを理解すると共に、自然に親しみ大切にする心を養います。

場所：フィールド、教室

時間：4時間

対象：小学校低学年～

●用意するもの

住宅地図、筆記用具、水性ペン、ワークシート、バインダー、模造紙、動物・植物・昆虫図鑑、カメラ、双眼鏡、虫めがね

学習のすすめ方

出かける前に

- ①住宅地図を見ながら調査範囲を決めます。（狭い範囲でかまわないでしょう。）
- ②どんな場所にどんな植物が生えているかを調べます。

- | | | |
|--------------|---------------|------------|
| a. 日当たりのよい場所 | b. 日当たりの悪い場所 | c. 乾燥したところ |
| d. じめじめしたところ | e. 土手や斜面、石垣など | f. 川や溝のまわり |
| g. 水の中 | h. その他 | |

- ③植物の特徴をスケッチしたり、写真をとったりした後、図鑑で名前を調べましょう。
- ④次に調べた植物のまわりに昆虫などのどんな動物がいたか、どんなことをしていたか（何を食べていたか）などを調べます。

帰ってから

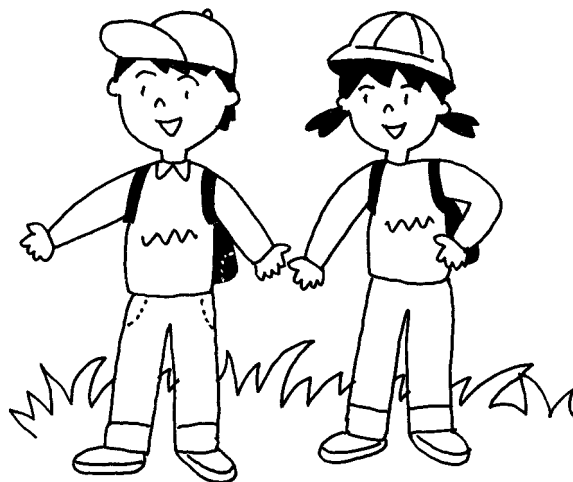
- ⑤ウォッチングが終わったら、模造紙に調査場所の地図を書き、見つけた植物を書き込んで植物マップを作りましょう。
- ⑥植物マップが出来たら、見つけた動物を記入します。
- ⑦場所、植物、動物のつながりから、食物連鎖がどうなるかをみんなで話し合います。

【ステップ2「はじめの一步」】

プログラム「町の中の昔さがし」へ

【実施上の工夫・留意点】

- ①むやみに動物や植物を捕獲、採取することがないようにしましょう。
- ②生き物を調査、観察するには継続と根気が必要です。この心構えを子どもたちに伝えるようにしましょう。
- ③ハチなどの危険な生物のことはあらかじめ注意しておきましょう。
- ④服装は、虫や草負けから皮膚を守るために、帽子、長袖・長ズボンがよいでしょう。



【ワークシート】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	-------------

①植物を調べよう（実施年月日： 年 月 日）

場所	場所の特徴	植物の名前	気づいたこと	なぜそこに生えたのか考えましょう

②生き物（動物）を調べよう（実施年月日： 年 月 日）

場所	生き物の名前	何をしていたか	なぜそこにいたのか考えましょう

③動物や植物が生きていくためには、まわりの環境がとても大切です。
あなたの住んでいる自然環境の特徴はどうでしたか。
今後、どうなったらいいと思いますか。

--

(2)ー③ テーマ：「地域文化・歴史」 ステップ1「きっかけ」

街角サウンドマップ ー音の地図をつくろうー
季節：いつでも

(学習のねらい)

- ①私たちの生活の中には、様々な「音」があります。音に着目して町を見直すと音に対して意外と注意をはらっていないことに気づくことができます。
- ②音には自然の音や人工的な音があります。どのような時に快く感じたり、不快に感じたりするのかを、様々な音に接し、音と環境のつながりについて考えるきっかけとします。

場所：フィールド、教室

時間：4時間

対象：小学校低学年～

●用意するもの

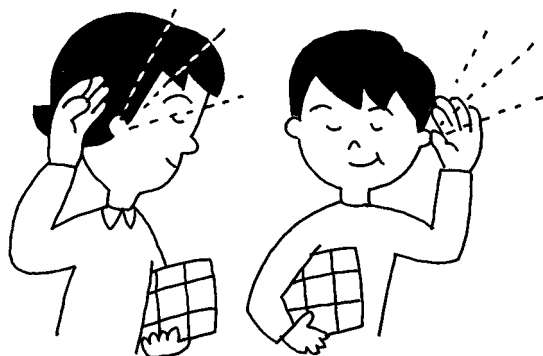
ワークシートまたは画用紙程度の大きさの紙、色鉛筆、笛（集合の合図用）など

学習のすすめ方

- ①白紙の紙と筆記用具を渡し、聴こえた音を各自自由に色や形（○印、波線など）で表現することを説明します。
- ②あらかじめ決めた範囲内で、参加者は自由に散らばって音を聴く場所を決めます。
- ③全員目を閉じて音を聴き、数分間（あらかじめ決めておく）に聴こえた音を、自分を中心にして感じた方向に思いのままの色や形でワークシートに描きます。
- ④描き終わったら、お互いにワークシートを見せあいながら、どんな音をどのように感じたかを出し合ってみましょう。

[実施上の工夫・留意点]

- ①小さな音も注意して聴くように指導しましょう。
- ②音を描くとき、形だけでなく、色を付けたり、大きさを表現したりしましょう。
- ③あまり音に対するの偏見をもたないようにし、自分たちの生活とのかかわりを素直に感じられるようにしましょう。



(2)ー③ テーマ：「地域文化・歴史」 ステップ2「はじめの一歩」

町の中の昔さがし 一町の変化を見つけようー
季節：いつでも

(学習のねらい)

- ①町の中で、「昔」を連想できるものをさがすことを通して、普段何げなく見過ごしている自分たちの町を見直すことができます。
- ②古い地図や写真と対比し、身近な地域の変化や歴史を実感できます。
- ③近所のお年寄りやおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんの子どもの頃の話聞くことにより、昔の生活に触れることができます。
- ④昔の話聞くことにより、自分たちの町が住みやすくなったか、良くなった点、悪くなった点を考え、地域を見直すきっかけとします。
- ⑤高齢者の人たちとの交流の機会をつくれます。

場所：フィールド、教室

時間：4～5時間

対象：小学校中学年～

●用意するもの

住宅地図、筆記用具、色鉛筆、古い地図や写真、（あれば方位磁石、双眼鏡）

学習のすすめ方

- ①ウォッチングに出かける前に、みんなで、町の中で見つけられる「昔」はどこにあるかを出し合ってみましょう。
- ②みんなで出し合った「昔」がある所へ出かけて、どんな事で、どれぐらい昔のことかを調べます。
- ③役場や図書館などで古い地図や写真を借りてきて、今との違いを確認しましょう。
- ④近所のお年寄りやお父さん、お母さんの子どもの頃の話聞きましょう。
- ⑤自分たちの町は住みやすくなったか、これからどんな町になったらよいか話し合ひましょう。



【ステップ3「つぎの一歩」】

- ・緑の量や田畑の耕地面積、栽培する農作物の種類の変化などを調べます。

【ステップ4「さらに」】

- ・昔、生息していた動物や植物が、なぜいなくなったか、どうすればまた増えるかを考えましょう。

【ステップ2「はじめの一步」】

【一口メモ】 日常生活での音の大きさの目安

20db	30db	60db	80db	100db
木の葉の ふれあう音	市内の深夜 図書館内	ふつうの会話	電車の車内	電車が通るときの ガード下

テープレコーダーなどの器材を使ってみましょう。

●用意するもの

《グループ》テープレコーダー（小型）、マイク
《個人で》調査するところの地図、バインダー、筆記用具

- ⑤5～6人程度のグループを作ります。
- ⑥出発前にどの方向で、どんなテーマで音調べをするのか、グループでよく話し合っておきます。

音調べの方面やテーマ（例）
商店街の音、大きな道路の周りの音、駅の周りの音、工事現場の音、公園の音、
季節の音、静かな音、気持ちがいい音、元気が出る音 など

- ⑦グループごとに話し合い、必要な係や約束を決めます。
- ⑧グループごとに音調べを行い、気づいたことを地図やワークシートに書き込んでいっていきます。
- ⑨暮しの中の音や「音で気がつかっていること」等について調べたり、地域の人にインタビューしたりします。
- ⑩みんなに知らせたい音を録音しておきます。
- ⑪学校に戻ったらグループごとに話し合い、調べた結果をまとめます。
- ⑫発表の時間には「この音 何の音、どこの音クイズ」などで楽しみながら、音を通して考えたことを出し合ってみましょう。

【ステップ3「つぎの一步」】

- ・グループの結果を持ち寄り、町全体の音の絵地図を作ってみましょう。

【ステップ4「さらに」】

- ・「季節の音」「今の音と昔の音」「騒音問題」「俳句と音」などをテーマに、音と人々の暮らしのつながりを考えてみましょう。

【ワークシート】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	-------------

①場所の特徴

②聞こえた音を色や形で表現しましょう。

○
自分

③どんな音をどんな形（記号）にしたか、記録しておきましょう。

聞こえた音	記 号	聞こえた音	記 号

④気づいたこと、感じたことを書きましょう。

(2)ー③ テーマ：「地域文化・歴史」 ステップ2「はじめの一歩」

町の中の昔さがし 一町の変化をみつけようー
季節：いつでも

(学習のねらい)

- ①町の中で、「昔」を連想できるものをさがすことを通して、普段何げなく見過ごしている自分たちの町を見直すことができます。
- ②古い地図や写真と対比し、身近な地域の変化や歴史を実感できます。
- ③近所のお年寄りやおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんの子どもの頃の話聞くことにより、昔の生活に触れることができます。
- ④昔の話聞くことにより、自分たちの町が住みやすくなったか、良くなった点、悪くなった点を考え、地域を見直すきっかけとします。
- ⑤高齢者の人たちとの交流の機会をつくれます。

場所：フィールド、教室
時間：4～5時間
対象：小学校中学年～

●用意するもの

住宅地図、筆記用具、色鉛筆、古い地図や写真、（あれば方位磁石、双眼鏡）

学習のすすめ方

- ①ウォッチングに出かける前に、みんなで、町の中で見つけられる「昔」はどこにあるかを出し合ってみましょう。
- ②みんなで出し合った「昔」がある所へ出かけて、どんな事で、どれぐらい昔のことかを調べます。
- ③役場や図書館などで古い地図や写真を借りてきて、今との違いを確認しましょう。
- ④近所のお年寄りやお父さん、お母さんの子どもの頃の話聞きましょう。
- ⑤自分たちの町は住みやすくなったか、これからどんな町になったらよいか話し合ひましょう。



【ステップ3「つぎの一歩」】

- ・緑の量や田畑の耕地面積、栽培する農作物の種類の変化などを調べます。

【ステップ4「さらに」】

- ・昔、生息していた動物や植物が、なぜいなくなったか、どうすればまた増えるかを考えましょう。

【ワークシート】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	-------------

①昔さがしに行って気づいたことを記入しましょう。

--

②昔の地図や写真との違いを記入しましょう。

昔のようす	今のようす

③地域の人に聞いた昔の町のようす、くらしを書きましょう。

聞いた人の名前	時代 (〇年頃)	内 容

④良くなったこと、悪くなったことを書きましょう。

(良くなったこと)	(悪くなったこと)
-----------	-----------

⑤次の世代にどんな町を残したいか、書きましょう。

--